

令和4年度 岐宿中学校 学力向上プラン

【目標】主体的に学び、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けた生徒の育成

<指標> 令和5年度の全国学力・学習状況調査の全国比101%以上、標準学力調査の県比101%以上。

1人1正答数アップ

【授業づくり（授業改善）】

○基礎的な力を確実に身に付けるために、以下の内容で授業改善に努める。

- ①基礎学力の定着.....毎時間の授業で、「振り返り」を行う時間を設定し、類似問題の練習に取り組みせる。
- ②個別最適な学習.....単元テストやレディネステスト等の結果から、生徒個々の学びの状況を把握し、習熟度問題に取り組みせたり、補充学習を行ったりする。
- ③自発的な家庭学習.....生徒が自分の学力や理解力に応じて、家庭学習の教科内容を選択できるようにすることで、自発的・主体的な自主学習に取り組みせる。また、ICT機器（クロームブック）も活用し、効率的・効果的に取り組みせる。

〔重点取組〕

- 「めあて」から「まとめ」までにつながりのある授業づくりを行い、終末に「振り返り」を設定する。

<取組指標>

- ・学校評価アンケートの家庭学習の項目で、4段階中、3.5以上を目指す。
- ・質問紙調査「授業の内容はよくわかりますか」の項目で、肯定的回答の割合→80%以上を目指す。
- ・質問紙調査「自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」の項目で、肯定的回答の割合→80%以上を目指す。

《児童生徒の学力の課題及び要因の考察》

- <学力の課題> ・国語科：自分の考えが伝わる文章になるように工夫して書いたり、相手の話の内容を的確に捉えながら聞いたりすること。（全国比－14.3）
・問題形式中の選択式や短答式に比べ、記述式問題の正答率が低い。（国語－9.8、数学－6.2、理科－3.5）
- < 要 因 > ・生徒個々の学びの状況把握が不十分であり、個々に応じた学習指導体制や環境が整備されていない。
・基礎的な知識や技能の定着を図る時間（類似問題を反復練習する等）が不十分である。
・1日の家庭学習時間が1時間未満の生徒が38.1%存在し、家庭学習の習慣化が確立できていない。